

ほあ～の会 (旧ほあ～がんサポートネットワーク)

誰もが自分の問題を解決できる「レジリエンス(回復力)」を持っています。

ほあ～の会は、そのレジリエンスを気づくための情報が得られ、あなたの生き方をサポートします。
その為に、あらゆる分野でご活躍の講師をお招きして、「身体・心・スピリット」など広範囲に及ぶ話題を共有する会です。
生き方、悩みなどの解決のヒントが得られる会です。

がん患者さんとそのご家族のみならず、当講演にご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

第136回講演 9月のテーマ

『死んだらどうなるの？ - 死は出発点！今をより良く生きるために』

〈講演内容〉

真言密教の尼僧の視点から日常の実体験をもとに、あえて死の向こうにある生を探る。

曼荼羅とは？

催眠療法、ソマティックヒーリングを受けた体験談もシェアする。

講師： 梶東 あすか
尼僧漫画家



〈略歴〉

東京都三鷹市生まれ。
高野山真言宗尼僧であり、漫画家で一般家庭の主婦で一児の母でもある。
漫画家としては吾妻ひでお氏と巴里夫氏に師事し、さいとうちほ、竹本泉、ささやななえこ等
各氏のアシスタントを経て、1989年に集英社少年ジャンプ第30回赤塚賞準入選。同年週刊
少年ジャンプ夏期増刊号にてデビュー。毎日中学生新聞等で日刊の4コマ漫画、取材漫画、
IT解説漫画等を連載。一般誌の他に大法輪を始め仏教系雑誌や複数の宗派の機関紙に漫
画やイラストを連載。
尼僧としては、1984年高野山別格本山西禅院徒弟として得度。受明灌頂授了。
2006年高野山大学加行道場大菩提院にて加行成満。同年伝法灌頂授了。
2007～2009年高野山大学にて中院流一流伝授了。
代表作『あいむ・ヤッチ!』(毎日中学生新聞)『門前のにゃん』(臨済宗妙心寺派月刊誌『花
園』)『パンドラBOX』(毎日中学生新聞)『幸せを呼ぶ仏像めぐりく仏さま神さま』キャラクター帳』
(二見書房)『仏さまカード 秘密のメッセージ』(じゃこめてい出版)等

先着30名程度、予約制(キャンセルもご連絡ください)

日 時 : 平成29年9月11日(月)

午後 1時30分～4時30分(受付開始 午後1時より)

会 場 : 横浜市市民活動支援センター 4階

(桜木町駅より徒歩7分)

https://opencity.jp/yokohama/pages/go/idx.jsp?page_id=10

お申込み先 : イーハトヴ クリニック 電話 [045-902-7240](tel:045-902-7240)

E-mail info@ihatovo-clinic.com

ご参加費 : 3,000円

主催 NPO法人 ほあ～がんサポートネットワーク
代表 医師 萩原 優 元日本外科学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、
日本消化器病学会専門医、日本緩和医療学会評議員